

## 授業の一環としての 「2003～4年度 二科展デザイン部受賞作品」の概略報告

筑波技術短期大学デザイン学科

安田輝男

**要旨：**筑波技術短期大学テクノレポート Vol.9 (1)「視覚伝達デザイン教育におけるコンペティション応募への取り組み」及び筑波技術短期大学テクノレポート Vol.10 (1)「二科展デザイン部『入選作品&応募作品』の概略報告」において、その主旨と成果について概略報告した。本稿では、その後の成果と新たな試みについての概略を報告する。

**キーワード：**視覚伝達デザイン、聴覚障害、アート、広告、二科展デザイン部

### 1. はじめに

視覚伝達デザインは、聴覚に障害のある人にとって健常者との格差が生じにくい分野と考えられ、また視覚的造形発想力に関して優れた能力を発揮できれば、社会での活躍も期待できる領域である。

つまり、視覚伝達デザインは、聴覚に障害がありデザインを職業として社会自立を目指す学生にとって、期待できる領域である。こうした考えに基づき、その能力を実践の場で磨くため、3年次の授業「伝達デザイン特別論・演習」の一環として、2000年度より二科展デザイン部門へ毎年応募し、本年度まで5年間連続受賞している[1]～[5]。

また、本年度は2年次の授業「伝達方法論・演習」の一環としても二科大阪展「ポストカードデザイン大賞」に応募し、4名が入選した。

### 2. 「伝達デザイン特別論・演習」の授業の構成

講義では、広告デザインの基礎的なアート手法を実際の広告事例のデザインを参照しながら具体的に学習する。演習では、実際のデザインの仕事（グラフィック広告デザイン、エディトリアルデザイン等）をするうえで役にたつスキルを身につける。

そのスキルを習得するために次に掲げた①～⑭の主なアート手法は、前稿でも解説したので、ここでは概略を述べる。

#### ①モノデカアート

商品を正々堂々と中心にすえて表現する最もオーソドックスな表現手法 [6]。

#### ②幕の内アート

商品やサービスの情報量が多い時などに有効な手法。食欲をそそる美しい幕の内弁当のように、多くの要素を美しくレイアウトする [6]。

#### ③告知アート

メッセージを、より明解に、より早く、より強く伝えたい時に用いる手法。広告コピーが主役となる [6]。

#### ④ビッグリアート

テーマをビッグでリアルな世界に置き換えてビックリさせる手法。ビジュアルショック手法とも呼ぶ[6][10]。

#### ⑤喜怒哀楽アート

人間の喜怒哀楽を、商品の訴求ポイントに関連させて表現する手法 [6]。

#### ⑥遊技アート

行きずりの広告読者の目を、遊戯感覚で一瞬にして釘付けにしようとする手法 [7][10]。

#### ⑦タイポアート

タイプフェイス、タイポグラフィの持ち味をビジュアル表現に活かした手法 [6]。

#### ⑧記号アート

一目でメッセージが伝わる記号・シンボル等をメインビジュアルに使う手法 [7]。

#### ⑨スキャンダルアート

人の本能に迫る手法。理性よりもむしろ感性に訴えるので、記憶の残像としてもインパクトがある [6][10]。

#### ⑩プロマイドアート

タレントの力を利用する手法。売れているタレントの顔を最大限に効果的に利用する [6]。

#### ⑪アニマルアート

広告のビジュアル効果を考えた場合、注目度の高いものの一つが動物である。その動物をメインビジュアルに登場させる手法。

#### ⑫BABYアート

BABY（赤ちゃん）も、上記の動物と同様に注目度の高いビジュアル素材。この赤ちゃんをメインビジュアルに登場させる手法 [7]。

#### ⑬キャラクターアート

キャラクターをメインビジュアルにする手法。マス媒

体の顔ともなり、また店頭での接客の顔ともなる [7]。

#### ⑭パロディアート

広告読者が既知のビジュアル素材を材料に、ひとひねりして見せる手法 [8][9][10]。

### 2. 1 効果的な予習としての広告事例観察

当授業では、講義の前に毎回学生に自分が関心を持った広告について発表させる。学生たちは新聞広告、雑誌広告、ポスター、インターネット上の広告等様々なメディアにわたる広告をとりあげ、関心を示す部分も、ビジュアルワークからコピーワークまで多岐にわたっている。このように、現実の社会に流れている生きた広告をウォッチングすることは、まさに生きた教材を活用することであり、当授業全体にとっての効果的な予習ともなっている。学生たちが発表する表情も生き生きとしている。

### 2. 2 演習ではアイデア出し&ラフスケッチの練習

前述2-1)で解説したアート手法を教授の後に、いくつかのミニ課題を与え、その表現のアイデア出しとラフスケッチの習作を行った。

このような助走的トレーニングの後に二科展デザイン部門課題へ取り組んでいった。

### 3. 「伝達方法論・演習」の授業の構成

2年次を対象とするこの授業においては、コミュニケーションのための有効な表現をどのように発想するか、また情報伝達の方法（プレゼンテーション）を体験的に習得する。

授業での成果物としては、「デザイン学科を後輩の高校生たちへPRするためのパンフレット」(A3二つ折り4ページ)と「デザインコンペや広告賞等への応募作品」がある。

「デザイン学科を後輩の高校生たちへPRするためのパンフレット」制作では、見開き2ページの中ページで、デザイン学科をアピールするための情報の整理と構成、デザインレイアウト等を学習。表紙と裏表紙では、パンフレットの読者対象を惹き付けるような魅力的なビジュアル表現アイデアの学習を行う。

「デザインコンペや広告賞等への応募作品」制作では、鑑賞者をいかに惹き付けるかの視覚伝達デザインの表現アイデア、技法の学習を行う。

当授業では、こうした実践的な作品を制作することにより、コミュニケーションのための有効な表現を体験的に習得するとともに、その作品のプレゼンテーションの

学習も行う。

### 4. 二科展デザイン部応募への取り組み

#### ■「伝達デザイン特別論・演習」での応募

##### [二科展デザイン部 2003年度 準入選作品]

2003年 第88回二科展デザイン部募集作品テーマは、A部門（自由テーマ）・B部門（イラストレーション）・C部門（特別テーマ「『愛・地球博』をテーマとしたポスター」）であった。

3年次5名、および卒業生2名がC部門に応募し、3年次履修生1名、卒業生1名、計2名が準入選した。

##### 作品①岩崎 仁

・タイトル：「陽はまた昇る。熱いハートが地球を守る」

両手でハートの形をつくり、そのハートの中心に地球を配したデザインである。ハートを表現している手の温もりが地球を大切にしたいという気持ちをよく伝えている。赤を基調とした画面が太陽の存在を象徴している。タイトルとビジュアルアイデアの相乗効果が見られる。

##### 作品②村田幸謙（卒業生）

・タイトル：「地球、それは究極の生命の芸術」

「炎は命を与え 風は命を運び 水は命を潤い 大地は命を育む 生きとし生けるもの すべてはめぐる いままでも そしてこれからも」とボディコピーで語っているように、火、風、水、土の輪廻をモチーフに、動物たちを登場させた構成になっている。前年度も入選した卒業生による作品である。

##### [二科展デザイン部 2004年度 準入選作品]

2004年 第89回二科展デザイン部募集作品テーマは、A部門（自由テーマ）・B部門（イラストレーション）・C部門（特別テーマ「『愛・地球博』をテーマとしたポスター」 \* 2005年に愛知万博が開かれるため前年と同じテーマ）であった。

3年次履修生5名がC部門に応募し2名が準入選した。

##### 作品③熊本淑恵

・タイトル：「生命が咲き誇る星 その名は地球」

タイトルが表現しているように、地球の生命としての花たち、鳥たち、それを育む水や緑といった自然を美しくまとめあげている。地球を慈しむように包んでいるハートのリボンが「愛・地球博」を象徴している。

##### 作品④茂木麻美

・タイトル：「地球はボクらの身体の一部さ！」

古代の恐竜から、現存の動物たちまでを登場させ、その身体の一部に地球を表現したユーモラスなポスターである。あたたかみのあるイラストレーションが人目を惹く。真ん中でいちだんと大きな身体で登場の「すてご

ざうるす」も微笑ましい。

## ■「伝達方法論・演習」での応募

### [二科大阪展

#### 「第2回ポストカードデザイン大賞」入選作品]

テーマは自由である。2年次履修生12名が応募し、4名が入選した。

#### 作品⑤梶原慶順

・テーマ：「脱出」

「脱出」の心象風景を象徴するような目も眩む鋭利な光を画面中央に強力に表現している。

#### 作品⑥神本梨香

・テーマ：「B-DEAF」

「BRAKE」の等身大の文字とダンスをしている人間の躍動感が力強さと開放感を表現している。

#### 作品⑦本庄知世

・テーマ：「宇宙」

太陽と太陽系惑星をモチーフにして、小さなポストカードサイズの中で、雄大な宇宙空間をイメージしている。

#### 作品⑧田村友恵

・タイトル：「幽霊の証拠」

「幽霊には足がない」という、よく聞かされる話を逆手に取ったビジュアルアイデアである。

## 5. おわりに

アムステルダム大学教授ジェイブ・フランツェンが「印刷広告では、『言葉の処理にかかる前に、まず画像処理される。広告の平均処理時間は2秒間で、このうち70～80%は視覚部分に費やされる』」[11]と述べていることをグラフィック作品の評価に当てはめて考えてみると、応募作品が審査員の目に留まるか否かは、まさにこの2秒間にかかっている。言い換えれば、作品の良し悪しは、一瞬のうちに見極められるのである。

この一瞬にアピールできる作品づくりに、学生ともども、今後とも挑戦していきたいと思う。

聴覚に障害がありデザインを学ぶ学生にとって、視覚伝達デザインのスキルを習得することは、社会で自立し、自己実現するために必須である。そうしたスキルを社会のデザイン現場との関わりの中で習得するために、3年次授業「伝達デザイン特別論・演習」の一環として、2000年度より二科展デザイン部門へ継続して応募してきた。本年度は5回目の応募にあたるが、幸いにして、5年間連続して受賞し、本年度は、2年次授業「伝達方法論・演習」においても二科大阪展デザイン部門へ応募し、

4名が受賞した。

今後とも、授業の一環としてのコンペティションへの応募は継続し、さらに実績を重ねていきたい。

本年度の二科展応募に際しては、本間巖先生にご支援ご協力をいただきました。ここに感謝の意を表します。

## デザイン学科のこれまでの二科展受賞実績

### [2000年度 募集作品テーマ]

A部門（自由テーマ）：1名応募 準入選

B部門（イラストレーション）：1名応募

C部門（特別テーマ）：3名応募 1名準入選

『『2001 ボランティア国際年』をテーマとしたポスター・キャラクター』

### [2001年度 募集作品テーマ]

C部門（特別テーマ）：5名応募 全員準入選

『『愛知万博』をテーマとしたポスター』

### [2002年度 募集作品テーマ]

C部門（特別テーマ）：7名応募 3名入選

『『2003年 日・ASEAN 交流年』をテーマとしたポスター』

### [2003年度 募集作品テーマ]

C部門（特別テーマ）：7名応募 2名準入選

『『愛・地球博』をテーマとしたポスター』

### [2004年度 募集作品テーマ]

C部門（特別テーマ）：5名応募 2名準入選

『『愛・地球博』をテーマとしたポスター』

### [2004年度 二科大阪展

#### 「第2回ポストカードデザイン大賞」]

テーマ自由：12名応募 4名入選

## 参考文献

- [1] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集1999, 二科展デザイン部, 1999
- [2] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集2000, 二科展デザイン部, 2000
- [3] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集2001, 二科展デザイン部, 2001
- [4] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集2002, 二科展デザイン部, 2002
- [5] 二科展デザイン部：二科展デザイン部作品集2003, 二科展デザイン部, 2003
- [6] 博報堂アート手法研究プロジェクト：FIFTEEN ART EDGES, 株式会社博報堂, 東京, 1989
- [7] 安田輝男：あの広告はすごかった!, 第1版, 中経出版, 東京, 1997

- [8] 安田輝男：パロディ広告大全集全一巻，第1版，誠文堂新光社，東京，1984
- [9] 安田輝男：広告デザインにおけるパロディの研究，デザイン学研究第46回研究発表大会概要集，24-25, 1999
- [10] 大貫卓也：大貫卓也全仕事，第1版，マドラ出版，東京，1994
- [11] 安田輝男・鈴木昭男：広告表現評価の尺度開発（上）－「おっ!」「なるほど!」と思われる広告－，日経広告研究所報207号，2-7, 2003



図1 作品① 岩崎仁さんの作品



図3 作品③ 熊本淑恵さんの作品



図2 作品② 村田幸謙さんの作品



図4 作品④ 茂木麻美さんの作品



図5 作品⑤ 梶原慶順さんの作品



図7 作品⑦ 本庄知世さんの作品



図6 作品⑥ 神本梨香さんの作品



図8 作品⑧ 田村友恵さんの作品

Report of Outline of  
"Winning School Works which are Applied" for NIKA Design part, 2003 ~ 4

YASUDA Teruo

Department of Design, Tsukuba College of Technology

**Abstract** : I have reported on the object and result in "Applications Design Competition, 'Visual communication design' for Education" (Tsukuba College of Technology Techno Report,2002 Vol.9(1)) and "The report of an outline of 'The winning works & the works which are applied' for NIKA design part" (Tsukuba College of Technology Techno Report,2003 Vol.10(1)).In this report , I report on the outline of the results and trials, after that.

**Key Words** : Visual Communication Design, The hearing impaired, Art, Advertisement, NIKA design part